

## やる気で千人きっかけ村づくり事業

### 取り組みに至る背景・事業の目的

- 住民と行政が互いの自主性を尊重し、対等な立場に立って協働の村づくりを進めていくことを目的に、平成18年に「王滝村ずくだそ応援隊」が組織され、行政との情報共有、意見交換、行事開催手法の検討といった観点で取り組んでいる。
- 村の財政状況の悪化に伴い、従来は村により開催されてきた敬老会や運動会といった地域の行事も中止せざるを得ない状況にある。村の沈滞した雰囲気を変えて行きたいという思いを、村の資金に頼るのではなく住民自らの手によって実践し復活させるための先導役及び行政とのクッション役として活動をしている。

### 事業内容

- 学習テーマ（例：民間団体が行なう森林整備の状況と活動内容）を設定し、先進的な取り組みをしている県内市町村を視察研修することにより、ずくだそ応援隊員はもとより、地域住民に関心を持ってもらい、自分たちの地域での取り組み方法や具体的な活動に結びつける。
- 県内先進地視察研修（県内3箇所）
- 地域づくりきっかけ講演会（2回）
- 村内有志実行委員会形式立上げによる行事開催（長寿を祝う会・村民スポーツフェスタ）
- 地区懇談会意見交換・村PR用年賀ハガキ作成
- 村民への報告（チラシ作成）



### 事業効果

- 地域づくりのきっかけになる講演会の開催を通じて、従来の行政主導型の認識から自分たちの地域は自ら主体性をもって進めて行くという意識が広がり始めてきている。
- 視察研修を通じて参加した村民から、地域を自分たちの手で何とかしたいと言う気持ちが芽生え始めてきている。参加者の中から新たな入隊者も現れている。
- 応援隊の仕掛けにより、行政任せでなく自分たちも楽しみ盛上がるように、住民の行事への参画が増えている。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- この取組みは一過性で終わらせることなく村民意識の定着が図られるよう継続して進めて行くことが求められている。
- 今後も引続いて、学習討論会の開催や、実行委員会方式による住民主体の行事の開催を促せるように、住民と行政の橋渡しや、住民の意識醸成を図って行きたい。

### 【選定のポイント】

小規模・過疎町村において住民が主体的に関わる協働形の地域づくりとしてモデル性が高い。

団体名	王滝村ずくだそ応援隊（王滝村）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	事務局（王滝村役場内）	事業費	231,118円
TEL	0264-48-2001	支援金額	200,000円